

## 公共事業環境配慮書

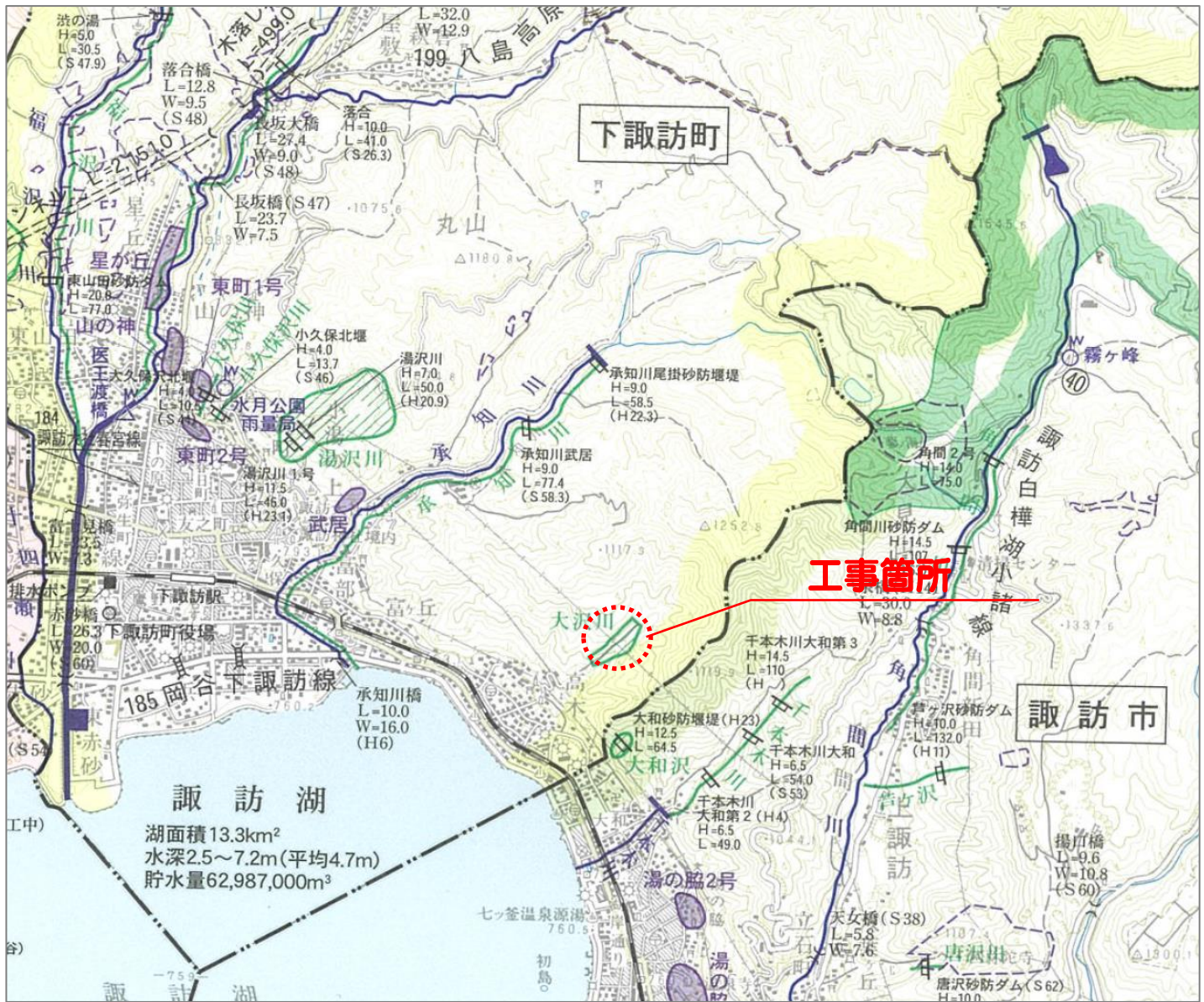
建設部 砂防課

事業名称		
事業名	国補火山砂防(事業間連携)事業	
整理番号	R3-4	
事業の種類	砂防堰堤の建設	
市町村名	諏訪郡下諏訪町	
箇所名	高木	
事業年度	平成24年度～令和7年度	
事業概要		
目的	大沢川は、霧ヶ峰西南の山麓部を源とし、諏訪湖へと流入する土石流危険溪流である。下流部には高木区公民館、老人集会施設、民家等保全対象人家178戸が密集しており、重要路線である国道20号、JR中央本線もある。流域では荒廃が進行しており、土石流が発生した場合、その被害は甚大である。 このため、砂防堰堤を整備し、土石流の抑止及び溪流浸食の防止を図る。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	砂防堰堤 H=12.0m L=103.3m V=8,100m <sup>3</sup> 管理用道路L=860m W=4.0m	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	令和3年12月、一部区域(別添図面参照)について、要綱に基づき環境配慮書を公表する前に工事を実施していたことが判明した。直ちに工事を中断し施工状況等を確認したところ、以下に示す環境配慮の方針を満たす事業内容で工事が実施されていたことを確認した。 残りの区域については、今後、環境配慮書を作成、公表した後、その方針に沿って工事を行い、より一層の環境負荷の低減に努める。	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	森林法の保安林等	
その他	なし	
社会的要素		
	留意すべき地域の概況	
交通の現況	事業区域内には町道が位置する 周辺にはJR中央本線、国道20号がある	
土地利用の現況	山地・丘陵である	
生活関連施設の現況	住居が点在している	
その他	特になし	
自然的環境要素		
	環境配慮の方針	
大気環境	留意すべき地域の概況	生活関連施設がある
	<b>【大気汚染の防止】</b>	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行はできる限り避ける。	
	・交通流の円滑化により、大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	
	・有害物質の使用、保管等の管理を徹底する。	
	・土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。	
水環境	<b>【騒音、振動の防止】</b>	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできる限り避ける。	
	・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。	
	・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。	
	<b>【悪臭の防止】</b>	
	・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。	
	・悪臭原因物質の使用、保管等の管理を徹底する。	
水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼がある
	<b>【水質汚濁の防止】</b>	
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
	・チェーンソーを使用する際は、生分解性チェーンオイルを使用する。	
	・水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点、すでに汚染が著しい地域等への排水をできる限り避ける。	
	・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	
	<b>【水循環の保全】</b>	
・山間部において、流域界の変更や沢の埋立を避ける。		
・河川において、下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。		
・掘削や地下構造物の設置等により地下水の流動を阻害しないように努める。		

地形・地質	留意すべき地域の概況	山地である
	<b>【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】</b>	
	・地すべり、崩壊、土石流等の危険性の高い地域や、近い将来活動する可能性のある活断層の区域の改変をできる限り避ける。	
	<b>【改変面積の最小化】</b>	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。 ・段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。 ・工事により裸地化する箇所は、早期の緑化を行い、表層土壌の侵食を防止する。 ・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。 ・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。 ・法面勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	
野生動植物	留意すべき地域の概況	猛禽類の生息・生育地周辺である カモシカ・ヤマネ(天然記念物)の生息・生育地周辺である
	<b>【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】</b>	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変をできる限り避ける。	
	<b>【野生動植物の生息・生育空間の保全】</b>	
	・動物の移動経路の分断をできる限り避ける又は新たな移動経路を確保する。 ・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。	
	<b>【動物の繁殖期における影響の低減】</b>	
	・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事をできる限り避ける。	
	<b>【地域独自の生物多様性の保全】</b>	
	・車両、資機材、作業着、靴等を適切に洗浄し、外来種の持込み防止に努める。 ・工事により裸地化する箇所は、早期の緑化を行い、外来植物の侵入・定着・拡大の防止に努める。 ・工事予定地の表土を用いた覆土による植生回復や地域由来の在来植物を用いた緑化に努める。 ・特定外来生物が確認された場合は、関係機関と相談の上、駆除に努める。	
	<b>【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】</b>	
・落下した小動物が脱出できる側溝、透過型えん堤、多段式落差工、自然石空張護岸等動植物への負荷の少ない構造を検討する。		
景観	留意すべき地域の概況	山地景観を形成している 都市景観を形成している
	<b>【すぐれた景観の保全】</b>	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
<b>【良好な景観の育成】</b>		
・樹木の伐採はできる限り避ける又は植樹等による緑化に努める。		
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	御柱祭で使用する市道がある
	<b>【自然とのふれあいの場への立地の回避】</b>	
	・不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の改変をできる限り避ける。	
<b>【自然とのふれあい空間の創出】</b>		
・河川、水路などの暗渠化は避けるよう努める。		
文化財等	留意すべき地域の概況	周知の埋蔵文化財包蔵地がある カモシカ・ヤマネ(天然記念物)の生息・生育地周辺である
	<b>【文化財等への配慮】</b>	
	・原則として史跡・名勝・天然記念物の指定地内への立地は避ける。また、史跡等の周辺や埋蔵文化財を包蔵する可能性の高い土地への立地をできる限り避ける。 ・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。	
廃棄物・建設残土	<b>【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】</b>	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。 ・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	<b>【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】</b>	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
<b>【資源の有効利用】</b>		
・発生土を有効利用し、建設残土発生の軽減に努める。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	<b>【環境への負荷の少ない機械の利用等】</b>	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 ・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 ・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	野生動植物	希少猛禽類の生息状況を把握し、猛禽類の生態に詳しい専門家のアドバイスを受けながら、生息環境への負荷を低減するために必要とされる措置を講じてください。	当該施工箇所においては、定期的に猛禽類調査を実施しており、生息環境への負荷を低減する提案をもとに工事に必要な措置を引き続き反映していきます。
2	野生動植物	当地域の周辺は、以前オオワシ(グル)のねぐらになっていたところですが、オオワシ自体は、現在いませんが、猛禽類が確認されていたようですので、地元保護団体などに聞き取りするなどして、配慮しながら進めてください。	上記1の猛禽類調査の際に地元の保護団体をはじめ、専門家に聞き取りを行い、配慮しながら工事を進めています。
3	文化財等	無主物の天然記念物(カモシカ、ヤマネなど)の生活環境に配慮してください。	計画策定時に現地調査を行った結果、無主物の天然記念物(カモシカ、ヤマネなど)の生息は確認されていないが、工事期間中に希少野生動植物が確認された場合は適宜措置を講じます。

# 位置図



火山砂防事業

(砂)大沢川 諏訪郡下諏訪町 高木